

## 2 昭和46年9月9日～10日 南部集中豪雨

発 生 年 月 日 昭和46年9月9日～10日

誘 因 豪雨

主な被害概要 死者42名、負傷者39名

この大雨は、県南部の尾鷲市、熊野市に集中し、尾鷲では連続雨量 1,095mm、最大時間雨量 92mm という記録的なものとなりました。このためこれら地域を中心として随所で山腹崩壊による土石流が多数発生しました。

この災害は、局地的な地域における激甚な土砂災害が特徴であり、土石流の発生は尾鷲市において6渓流、熊野市において3渓流におよび、42名の尊い人命を失いました。



小浜川土石流（尾鷲市賀田町）



おぶこ川土石流（尾鷲市古江町）

## 3 昭和57年7月31日～8月3日 台風10号・集中豪雨

発 生 年 月 日 昭和57年7月31日～8月3日

誘 因 台風10号及び集中豪雨

主な被害概要 死者21名（土石流、がけ崩れによる）

この災害では、県北中部で7月24日から27日にかけて梅雨前線による降雨があり、これらの地域では地山が湿潤状態になっていました。その後台風10号による豪雨に見舞われ、多数のがけ崩れ、土石流が発生しました。

この災害による死者、行方不明者は24名にのぼりましたが、内21名がこれら土砂災害によるものでした。



垣内川（松阪市嬉野小原町）

